

帰化アサガオ類まん延防止技術マニュアル

帰化アサガオ類の 地域全体への まん延を防止するための ほ場周辺管理技術

Ver.2



ほ場周辺でアサガオのような雑草を見かけたことはありませんか？



これらは外国から侵入した帰化雑草で帰化アサガオといいます。



侵入初期の多くはほ場周辺で発生しています。ここで防除しないと...

ほ場内や地域全体でまん延したら防除がますます困難になります！

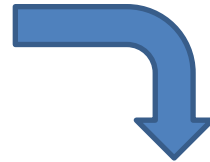
帰化アサガオの
地域全体へのまん延を防ぐには
ほ場周辺の管理が重要です

ほ場周辺の帰化アサガオは 種子を作ってほ場内や 地域全体に広がっていきます



侵入初期に適期に防除し、**種子を作らせない**で下さい。

大豆畑に入り込むと、**除草剤が効きにくく**、つるが大豆にまきつくので、**防除は大変困難**になります。



大豆を押しつぶす帰化アサガオ

帰化アサガオは気温が高いほど生育がよく、**温暖化によって分布域や被害の拡大**が予想されます。

地域全体へのまん延を防ぐには
種子を作らせないことが重要です



花が咲いたら直ちに防除！

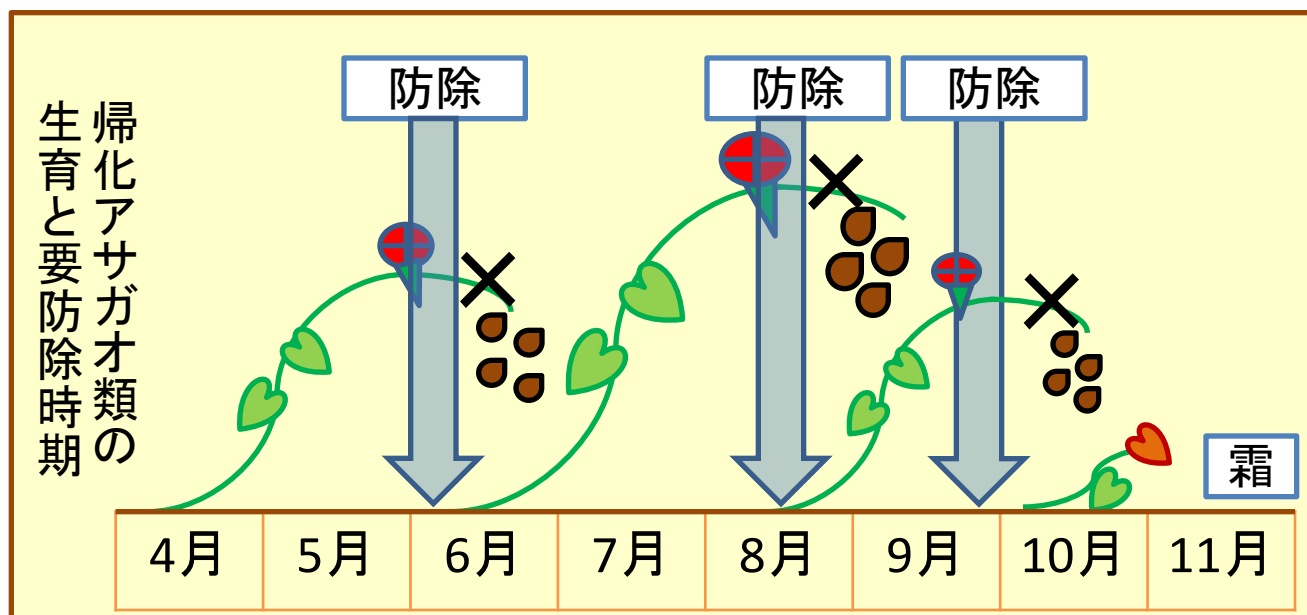
畦畔や農道脇などで見かけたら、
種子を作らせないように
開花・結実前に防除することが重要です。

ほ場周辺では、刈り取りや
非選択性茎葉処理除草剤で防除します



結実前に年に3回は必ず防除！

- 1回目の防除：6月上旬
- 2回目の防除：8月中旬
- 3回目の防除：9月下旬（茨城県つくば市の例）

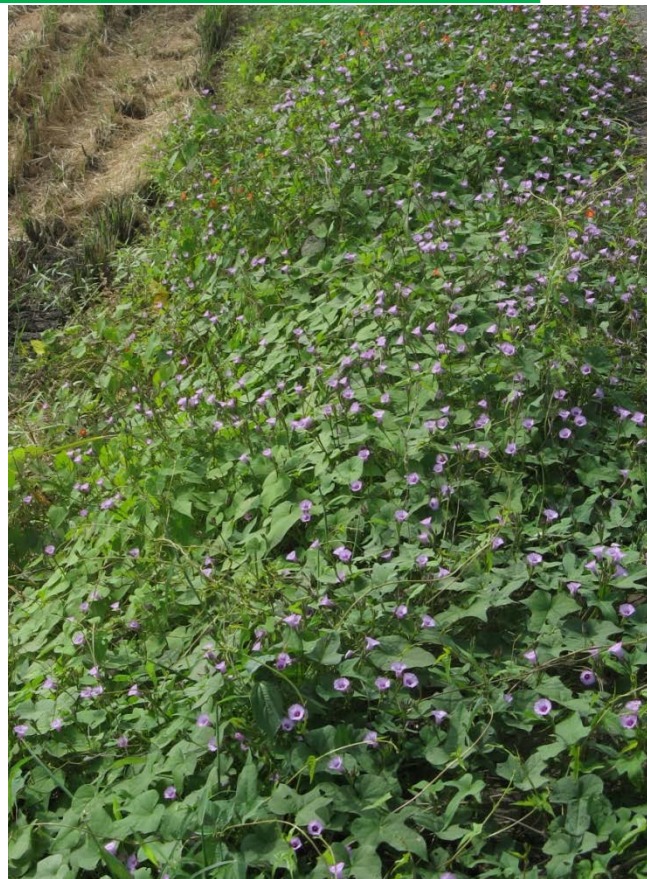


※帰化アサガオ類は4月から10月まで長期にわたり発生して開花・結実するので、年1回の防除では不十分です。

こんなところが要注意です!



マルバルコウが繁茂した大豆畦畔



ホシアサガオが繁茂した水田畦畔



マルバルコウがからみついた道路と水路の間のフェンス

防除方法と注意事項

刈り取りによる防除

【注意点】

- ・再生防止のために**地際から刈り取るか抜き取る**
- ・種子の後熟防止のために**刈り取った株を放置しない**



5cmの高さで
刈り取っても…



刈り株の**節からつる**が伸び、
1週間後には1m近くになります。



3週間後、果実は茶色く乾燥し、中に完熟種子ができています。

開花後に刈り取って放置すると、緑色の果実の中の未熟種子が**後から熟して発芽力のある種子**になります。

非選択性茎葉処理 除草剤による防除

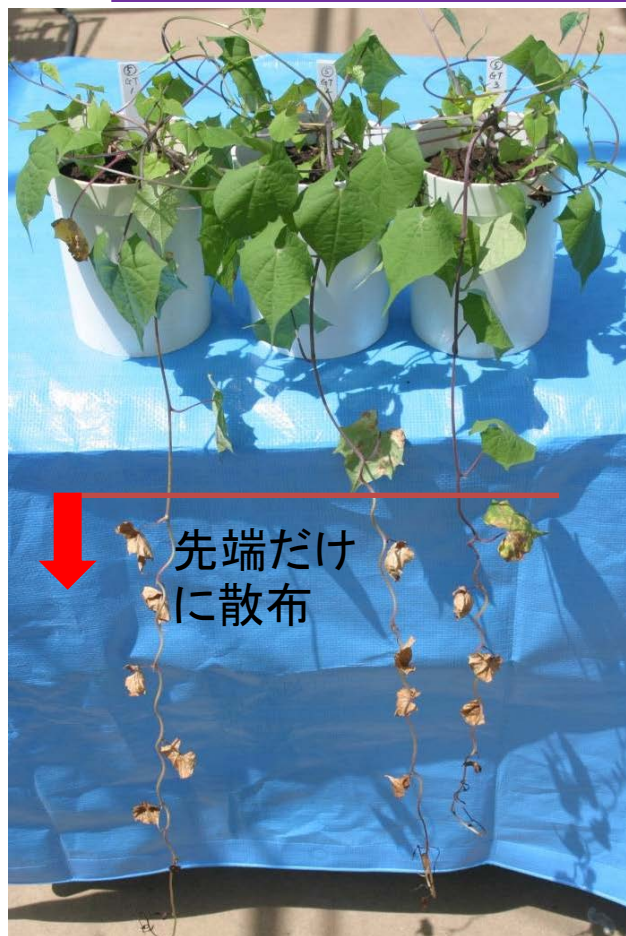
除草剤は使用上の注意をよく読んで、登録内容に従って使用して下さい。



【注意点】

- ・**グルホシネート液剤(バスタ液剤)等**が有効
- ・上の方の葉や先端だけでなく**株元まで十分かかるように散布する**
- ・**周りの作物にかからないように散布する**

下の写真はグルホシネート液剤(500ml/100L相当)を
↓から下に散布した時の1週間後の状況です。



先端だけ
に散布

先端だけに散布すると
かかったところだけ枯れて
株元の方は枯れません。



株元に
散布

株元に散布すると先端まで枯
れます。

葉が重なっている時は、株元ま
でかかるようにていねいに散布
する必要があります。

帰化アサガオの種類と特徴

ほ場周辺で問題となっている帰化アサガオは、ヒルガオ科でサツマイモの仲間ですが、花が次々と咲き、**種子**で増えます。

原産地は熱帯および温帯アメリカです。つる性で**気温が高いほど生育が旺盛**になります。

すでに日本に数種類が侵入しています。発生が多いのは、関東以西ですが、**東北地方でも確認**されています。

温暖化によって
分布域と生育量が
大きくなることが
予想されます



サツマイモの葉



マルバアメリカアサガオ（アメリカアサガオの変種で葉に切り込みがない。その他の形質は変わらない。）

葉やつるやガクに毛が多い。
子葉の切れ込みは小さく丸みをおびる。
ガクはつぼみの頃から先端が細長く大きく
反り返る。
花は赤～青色と様々で直径約3cm。



アメリカアサガオ



マルバルコウ

葉に毛がない。子葉の切れ込みは小さく丸みをおびる。花はオレンジ色で直径約1.5～2cm。



ホシアサガオ

葉に毛があるがめだたない。子葉の切れ込みが深くとがっている。花はピンク色で直径約1.5～2cm。葉から飛び出して咲くように見える。

マメアサガオ

葉に毛があるがめだたない。子葉の切れ込みが深くとがっている。葉の縁が紫になりやすい。花は白色、まれにピンク色で直径約1.5～2cm。

帰化アサガオを侵入初期に 防除してまん延を防ぎましょう

ほ場周辺においても密度が高くなると、防除が困難になります。侵入初期の防除が有効です。

帰化アサガオは条件がよいと一株で数千～数万粒の種子を作ります。種子は寿命が長く、土の中で何年も生きていて、水田にしても死にません。ほ場周辺をよく観察し、帰化アサガオを見つけたら、種子ができる前に防除してください。

ほ場内に侵入したら防除がますます困難になります。土壌処理剤や選択性茎葉処理剤が効きにくく、つるがまきつくため機械除草も困難です。

帰化アサガオを地域全体にまん延させないため、侵入初期に種子を作らせないタイミングでの防除が重要です。



大豆畦畔からほ場内へ侵入するマルバルコウ

参考となる資料

(独)農研機構 平成21年度研究成果情報(共通基盤・雑草部会)

- ・温暖地での帰化アサガオ類の出芽開花結実時期に基づく圃場周辺の要防除時期
- ・温暖地以北の大豆畑における帰化アサガオ類の発生状況と被害内容

大豆ほ場内における防除マニュアルも作成予定です・・・

- 本資料は農林水産省委託プロジェクト研究(気候変動対策プロ)
「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のための技術開発」
の成果に基づいて作成されました。

- 「帰化アサガオ類の地域全体へのまん延を防止するためのほ場
周辺管理技術」およびその関連情報は、農研機構中央農業総合
研究センターのホームページに掲載しています。

- 本資料についての問い合わせは下記にお願いします。

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター
雑草管理担当 澁谷知子・黒川俊二
〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1
TEL : 029-838-8481(代)
E-mail : kusa-daizu@naro.affrc.go.jp